

## 三田市における蝶類の記録

谷野 温<sup>1)</sup>

### はじめに

三田市は、兵庫県の南東部に位置し、北摂三田ニュータウンの整備によって発展した都市である。地形としては、四方を山に囲まれた盆地であり、北西部から南東部へと武庫川が蛇行しながら流れている。冬の気温が周辺地域に比べても低いことも特徴と言える。市内のほとんどの地域はアカマツとコナラの林であり、照葉樹林やその他の針葉樹林はほとんど見られない。

さて、筆者が三田市民になったのが2013年。当時より蝶を採集していたが、真面目な調査を始めたのは2019年からである。その後、約3年半の間に生息が考えられるおおよその種類が採集できたので、ここにまとめることにする。

### 1. 調査概要

調査は2019年の3月頃から開始した。方法は、フィールドに出て蝶を採集するという簡単なものである。採集には1m～5mの長竿を使用した。まとめるに当たっては、作成した標本のラベルをもとにデータを出した。なお、できるだけ多数の種を採集することに重点を置いたため、データの個数が少なく、採集地にも偏りがあることはお許し願いたい。

### 2. 各種の解説

生態などの解説は、すでに様々な図鑑や論文などに挙げられているので、ここではデータの補足や特に必要と思われることを書く。和名・学名は日本産蝶類標準図鑑(白水, 2006)に従った(なお、記載者名は省略)。データの最後に飼育羽化の旨があるものは、日付が羽化日となっている。特に注意書きのない地名は三田市内のもの。

#### 1. ギフチョウ *Luehdorfia japonica*

個体数は少なくない。三田市ではヒメカンアオイが食草。ミヤコアオイの生えている場所もあるが、ギフチョウは確認出来ていない。

有馬富士公園, 2♂, 13. IV. 2019; 2♂, 7. IV. 2020; 4♂, IV. 2019; 1ex., 10. IV. 2022. 大畑, 2♂, 8. IV. 2020. 志手原, 1♂ 2♀, 17. IV. 2020. 大原, 1♀, 3. III. 2021.

#### 2. アゲハ *Papilio xuthus*

市内で最もよく見られるアゲハチョウ。春型は3～5月に見られ、6月の中旬頃には夏型が出始める。以後は継続的に10月中頃まで見られる。市内において筆者は、春型の♂は山頂付近に飛来するものが多く見られるが、夏はごく僅かしか山頂に飛来しない、という行動を観察している。他の地域ではどうだろうか。

志手原, 1♂, 10. V. 2019. 有馬富士公園, 1♀, 11. V. 2019. 大原, 1♂, 11. IX. 2021; 1♀, 28. IX. 2021, 幼虫採集・飼育羽化。有馬富士, 1♀, 10. IV. 2022.

#### 3. キアゲハ *Papilio machaon*

アゲハより若干遅れて発生する。低地から山頂まで見られ、やや多い。

有馬富士, 1♂, 3. V. 2019; 1♂, 24. III. 2021; 1♂, 20. VI. 2021; 1♂, 4. IV. 2022. 大原, 1♂, 7. IV. 2022; 1♂, 7. IV. 2022. 中央公園, 1♀, 28. VII. 2019.

#### 4. クロアゲハ *Papilio protenor*

市内ではどこにでも見られ、黒系アゲハの中では最も多い。春型は例年5月になる直前に発生するが、これが年々早くなっているように思う。これは他の黒系アゲハでも同様に思う。

有馬富士, 1♂, 19. V. 2019; 1♂, 9. V. 2021; 1♂, 23. IV. 2022; 1♂, 7. V. 2022. 大原, 1♀, 2. VIII. 2021; 1♂, 15. X. 2021, 幼虫採集・飼育羽化。

#### 5. オナガアゲハ *Papilio macilentus*

少ない。市内で比較的多数が見られるのは東部地域のみで、他ではほとんど見たことがない。

波豆川, 2♂, 24. V. 2020. 有馬富士公園, 1♂, 1. VIII. 2020.

<sup>1)</sup> Atsu TANINO 三田市立上野台中学校

#### 6. モンキアゲハ *Papilio helenus*

クロアゲハ、カラスアゲハに次いで多い。春型は例年5月中旬からの発生だが、驚いたことに7月上旬まで見られる。夏型は7月の下旬から見られる。本種は翅の破損が早く、データが少ないのはこの為である。

有馬富士, 1 ♂, 25. V. 2019; 1 ♂, 28. V. 2021; 1 ♀, 7. V. 2022.

#### 7. カラスアゲハ *Papilio dehaanii*

個体数は多い。発生はミヤマカラスアゲハより若干遅れ、その差は夏型でより際立つ。

有馬富士, 1 ♂, 3. V. 2019; 1 ♂, 19. V. 2019; 1 ♂, 25. V. 2020; 1 ♂, 28. V. 2020; 1 ♂, 9. V. 2021; 1 ♂, 15. V. 2021; 1 ♂, 19. VII. 2021; 2 ♂, 23. IV. 2022; 3 ♂, 3. V. 2022; 2 ♂, 7. V. 2022. 小野, 1 ♂, 5. VI. 2021. 大原, 1 ♀, 15. VIII. 2021. 母子, 1 ♂, 23. V. 2022.

#### 8. ミヤマカラスアゲハ *Papilio maackii* (図1)

他の黒系アゲハに比べると少ない。4月の中旬から発生するが、これは以前より1週間程も早くなっているように思う。三田市ではほとんどの山で見られる。

有馬富士, 2 ♂, 26. V. 2019; 1 ♂, 9. V. 2021; 1 ♂, 7. V. 2022. 虚空蔵山, 1 ♂, 11. V. 2020. 三国ヶ岳, 1 ♂, 10. VIII. 2020; 1 ♂, 3. V. 2021. 千丈寺山, 1 ♂, 24. IV. 2021. 大原, 1 ♀, 11. IX. 2021.

#### 9. ジャコウアゲハ *Byasa alcinous*

発生地がごく限られる。データに載っていない場所では、加茂、東野上、香下、波豆川で過去に目撃したことがある。

小柿, 2 ♂, 1. V. 2020. 観福の森, 1 ♀, 3. V. 2021.

#### 10. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*

個体数は少なくないが、採集が難しい。データが少ないのはその為。ニュータウン地域ではもっと数が多いかもしれないが未調査。

有馬富士, 1 ♂, 12. V. 2019; 1 ♂, 15. V. 2021.

#### 11. モンシロチョウ *Pieris rapae*

数多く見られる。5月の下旬頃には夏型に変わる。

志手原, 1 ♀, 19. IX. 2020. 深田公園, 1 ♂, 14. III. 2021. 大原, 1 ♂ 1 ♀, 2. VI. 2019; 1 ♂, 17. III. 2021; 1 ♀, 29. III.



図1 ミヤマカラスアゲハ



図2 スジグロシロチョウ



図3 ツマグロキチョウ



図4 ウラミスジジミ



図5 ミズイロオナガシジミ



図6 オオミドリシジミ



図7 ヤマトシジミ



図8 ルリシジミ



図9 ヒオドリシチョウ



図10 オオムラサキ (スギタニ型)



図11 ミスジチョウ



図12 ウラギンスジヒョウモン



図13 ウラギンヒョウモンの一種



図14 ヤマキマダラヒカゲ



図15 ギンイチモンジセセリ



図16 チャバネセセリ

2021; 1 ♂, 7. IV. 2021; 1 ♂, 22. V. 2021; 1 ♀, 23. IX. 2022. 母子, 1 ♂, 23. V. 2021. 有馬富士公園, 1 ♀, 31. V. 2021. 下深田, 2 ♂, 21. III. 2022.

12. スジグロシロチョウ *Pieris melete* (図 2)

非常に稀. 4 年間はおろか, 三田市に住み始めてから 1 ♀しか採集できていない.

小野, 1 ♀, 4. VI. 2021.

13. ツマキチョウ *Anthocharis scolymus*

数はやや少ないが, 広範囲で見られる.

香下, 1 ♂, 14. IV. 2020. 志手原, 1 ♂, 27. III. 2021. 有馬富士公園, 1 ♂ 1 ♀, 11. IV. 2021; 1 ♀, 10. IV. 2022.

14. キタキチョウ *Eurema mandaria*

数は多く, 黄色いのでよく目立つ.

有馬富士公園, 1 ♀ (秋型), 11. V. 2019; 1 ♂ (秋型), 7. IV. 2021. 小野公園, 1 ♂ (中間型), 3. XI. 2019. 志手原, 1 ♂ 1 ♀ (夏型), 19. IX. 2020; 1 ♀ (秋型), 29. III. 2021. 藍本, 1 ♂ (秋型), 3. XI. 2020; 1 ♂ (秋型), 5. XI. 2020. 蛹採集・飼育羽化; 1 ♂ (秋型), 7. XI. 2020. 蛹採集・飼育羽化. 深田公園, 1 ♂ 1 ♀ (秋型), 14. II. 2021. 大原, 1 ♂ (夏型), 15. VI. 2019; 1 ♂ (中間型), 4. X. 2020; 3 ♂ (夏型 1 中間型 2), 23. IX. 2022; 7 ♂ (夏型 6 秋型 1), 26. IX. 2022.

15. ツマグロキチョウ *Eurema laeta* (図 3)

この 4 年間で 1 頭しか採集しておらず, 極めて数が少ない. 過去には大畑でも採集したことがある.

有馬富士公園, 1 ♀, 11. IV. 2021.

16. モンキチョウ *Colias erate*

春早くから発生し, 数は多い. 低温期の個体は橙紋が発達し, 白い♀も含めて前翅裏面が橙色になる個体がいる.

大原, 1 ex., 2. VI. 2019; 1 ♂, 26. III. 2021; 1 ♀, 29. III. 2021; 1 ♀ 2 exs., 7. IV. 2021; 1 ♂, 27. III. 2022; 1 ex., 23. IX. 2022; 1 ex., 24. IX. 2022. 有馬富士公園, 1 ♂, 17. III. 2021. 深田公園, 1 ♀, 20. VIII. 2021.

17. ウラギンシジミ *Curetis acuta*

やや多い. 8 月の後半から特に個体数を増すように思う.

波豆川, 1 ♂, 29. VIII. 2019. 有馬富士公園, 1 ♂, 19. VII. 2020. 深田公園, 1 ♀, 23. VIII. 2020. 城山公園, 1 ♂, 8. XI. 2020. 志手原, 1 ♂, 11. X. 2022.

18. ムラサキシジミ *Narathura japonica*

カシ類が何らかの理由で伐採されたあとには多数飛

んでいることがある.

志手原, 1 ♀, 18. VI. 2019; 1 ♀, 19. IX. 2020. 有馬富士公園, 1 ♂, 20. VI. 2020. 城山公園, 1 ♂, 8. XI. 2020.

19. ウラゴマダラシジミ *Artopoetes pryori*

少ない. 食樹であるイボタ類の分布にかたよがあるように思うので, もっと多数が見られるところもあるかもしれない.

有馬富士公園, 1 ♂, 31. V. 2021. 飯盛山公園, 1 ♀, 5. VI. 2021.

20. ウラキンシジミ *Ussuriana stygiana*

少ない. データに示したのが全ての採集個体である. 昼間の叩き出しによって得られた.

有馬富士公園, 1 ♂, 12. VI. 2020; 1 ♀, 16. VI. 2020; 1 ♀, 12. VI. 2021.

21. ウラミスジシジミ *Wagimo signatus* (図 4)

非常に稀. 4 年間で採集できたのはデータに示した記録のみ. 採集したときの感動は今でも忘れられない.

有馬富士公園, 2 exs., 13. VI. 2020.

22. ミズイロオナガシジミ *Antigius attilia* (図 5)

ゼフィルスの中では多い. 2022 年 6 月 11 日に採集したもの (データにも示した) のうち 1 個体は前翅基部に黒点のあるタイプ.

有馬富士公園, 1 ex., 6. VI. 2019; 3 exs., 12. VI. 2020; 1 ex., 12. VI. 2021; 2 exs., 11. VI. 2022. 尼寺, 1 ex., 6. VI. 2021.

23. アカシジミ *Japonica lutea*

やや多い. ミズイロオナガシジミと同じぐらい見られる.

有馬富士公園, 1 ♂, 4. VI. 2019; 1 ex., 30. V. 2021; 1 ex., 6. VI. 2021; 2 exs., 12. VI. 2021; 2 exs., 11. VI. 2022.

24. ウラナミアカシジミ *Japonica saepestrata*

三田市にはクヌギがほとんどないので, 代わりにアベマキを食樹としていると考えられる (確認はしていない). ゼフィルス類の中ではアカシジミに次いで多い個体数だが, アベマキが大木ばかりなので採集困難.

有馬富士公園, 1 ♀, 4. VI. 2019; 1 ♂, 18. VI. 2019; 1 ♀, 20. VI. 2020; 1 ♂, 12. VI. 2021; 1 ♂, 11. VI. 2022. 大川瀬, 1 ♀, 26. VI. 2021.

25. ミドリシジミ *Neozephyrus Japonicus*

ハンノキがあればどこにでもいるように思う. 個体数も比較的多い.



- 有馬富士公園, 2 ♂, 20. VI. 2019; 1 ♂, 17. VI. 2020; 1 ♀, 20. VI. 2020; 1 ♂, 30. V. 2021, 幼虫採集・飼育羽化. 観福の森, 1 ♂, 5. VI. 2020, 幼虫採集・飼育羽化. 尼寺, 1 ♂, 31. V. 2021, 幼虫採集・飼育羽化. 大川瀬, 2 ♀, 26. VI. 2021.
26. オオミドリシジミ *Favonius orientalis* (図6)  
少ない. コナラは多く生えているが, 全然見られない.  
有馬富士公園, 1 ♂, 21. VI. 2020. 大川瀬, 1 ♀, 27. VI. 2021.
27. ベニシジミ *Lycaena phlaeas*  
多い. 草地があればほとんどどこにでもいる. 雨の時は樹上にいることもある.  
大原, 1 ♀, 16. IV. 2020. 城山公園, 1 ♀, 8. XI. 2020. 有馬富士公園, 1 ♂, 24. X. 2020; 1 ♂, 17. III. 2021; 1 ♂, 24. III. 2021; 1 ♂, 27. III. 2022; 1 ♀, 2. IV. 2022.
28. ヤマトシジミ *Zizeeria maha* (図7)  
多い. 森林を除きどこにでもおり, 秋遅くまで見られる.  
大原, 1 ♀, 30. IV. 2020; 4 ♂ 1 ♀, 17. VIII. 2020; 1 ♂, 4. X. 2020. 尼寺, 1 ♀, 31. X. 2020. 藍本, 1 ♀, 3. XI. 2020. 志手原, 1 ♂, 6. IV. 2021. 有馬富士公園, 1 ♂, 19. IX. 2021.
29. ツバメシジミ *Everes argiades*  
草丈が少し高めの草地にいる.  
大原, 1 ♂, 16. IV. 2020; 1 ♂, 17. VIII. 2020; 1 ♂, 23. IX. 2022. 志手原, 1 ♀, 13. IX. 2020; 1 ♂, 19. IX. 2020. 宮脇, 1 ♂ 1 ♀, 4. V. 2021. 有馬富士公園, 2 ♂, 19. IX. 2021.
30. ルリシジミ *Celastrina argiolus* (図8)  
数は多い. 図に示すように, 翅表の色味が若干違う個体がたまにいる.  
友が丘, 1 ♂, 4. VI. 2019; 1 ♀, 11. VI. 2019. 有馬富士, 2 ♂ 2 ♀, 24. III. 2020; 1 ♂, 2. VIII. 2020; 3 ♂, 26. III. 2021; 2 ♂, 27. III. 2022. 志手原, 1 ♀, 19. IX. 2020. 大原, 1 ♂, 29. III. 2021. 有馬富士公園, 1 ♀, 17. III. 2021; 1 ♂, 5. IV. 2021; 1 ♀, 30. V. 2021; 1 ♂, 2. IV. 2022.
31. コツバメ *Collophrys ferrea*  
少ないものではない. アセビの花に来ているのがよく見られる.  
有馬富士公園, 1 ♀, 7. IV. 2020; 1 ♂, 26. III. 2021; 1 ♂, 7. IV. 2021; 1 ♀, 11. IV. 2021; 1 ♂, 27. III. 2022.
32. トラフシジミ *Rapala arata*  
数は少ない. 6月下旬頃に夏型を採ったことがある.  
有馬富士, 1 ♂, 7. IV. 2020. 観福の森, 1 ♀, 30. IV. 2020.
33. ウラナミシジミ *Lampides boeticus*  
秋には個体数を増す. 天気が悪いと飛ばないので, 狙って採ろうとすると採れない.  
藍本, 1 ♀, 5. XI. 2019. 大原, 1 ♀, 27. IX. 2020. 成谷, 1 ♂, 1. X. 2022.
34. クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*  
データに示した1個体だけ採れた. 発生しているかは不明.  
深田公園, 1 ♂, 23. VIII. 2020.
35. テングチョウ *Libythea lepita*  
6月と秋, 翌年の春に多い. それ以外の時期はあまり見られない.  
有馬富士公園, 1 ex., 2. VI. 2020; 1 ex., 7. VI. 2020. 奥山公園, 1 ex., 2. X. 2022.
36. ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*  
秋に個体数を増すようである.  
有馬富士公園, 1 ♀, 5. VI. 2019. 大原, 1 ex., 6. XII. 2020. 成谷, 1 ex., 1. X. 2022.
37. アカタテハ *Vanessa indica*  
普段はあまり見ない. 夕方には山頂で占有していることもある.  
有馬富士, 1 ex., 2. VIII. 2020; 1 ♂, 24. X. 2020.
38. キタテハ *Polygonia c-aureum*  
秋にはよく見られる. 割とどこにでもいる.  
有馬富士公園, 1 ex., 20. X. 2019; 1 ex., 24. IX. 2022. 大原, 1 ex., 24. IX. 2022.
39. ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomeles* (図9)  
数は少なくないが, 初夏の頃にはあまり見られない. 鮮やかな赤で, 鮮烈な印象.  
有馬富士公園, 1 ♂ 1 ♀, 30. V. 2021. 大原, 1 ex., 27. V. 2022.
40. ルリタテハ *Kaniska canace*  
アカタテハ同様, 普段あまり見ない. 夕方には時々路上で占有しているのを見かける.  
有馬富士, 1 ex., 20. VI. 2020. 有馬富士公園, 1 ♀, 7. IV. 2021; 1 ♂, 4. IV. 2022.

41. コムラサキ *Apatura metis*

やや多い. 池の周りで見る.

有馬富士公園, 1 ♀, 10. VIII. 2019; 1 ♂, 16. VI. 2020; 1 ♀, 4. VI. 2022.

42. ゴマダラチョウ *Hestina japonica*

エノキの木で待っているとよく見られる. 春型は割と長く見られるように思う.

有馬富士公園, 1 ♀, 11. V. 2019, 幼虫採集・飼育羽化; 1 ♂ 1 ♀, 1. VIII. 2020. 有馬富士, 1 ♂, 20. VI. 2021; 1 ♂, 5. VIII. 2021.

43. オオムラサキ *Sasakia charonda* (図 10)

普段から見られるものではないが, 北部には広く生息している模様. 稀にスギタニ型が採れる.

有馬富士, 1 ♂ (スギタニ型), 29. VI. 2019; 1 ♂ (スギタニ型), 7. VII. 2019; 4 ♂ (うち 1 ♂はスギタニ型), 24. VI. 2021; 1 ♂, 22. VI. 2022. 有馬富士公園, 1 ♂, 2. VII. 2020; 1 ♀, 7. VIII. 2020.

44. スミナガシ *Dichorragia nesimachus*

やや少ない. 他に 2020 年 8 月 9 日三国ヶ岳でも採集している.

有馬富士, 1 ♂, 2. VIII. 2020; 2 ♂, 28. V. 2022; 1 ♂, 22. VI. 2022.

45. イチモンジチョウ *Ladoga camilla*

次種アサマイチモンジよりかなり少ない. 8 月にも見られる.

有馬富士公園, 1 ♂, 29. V. 2020; 1 ♀, 7. VI. 2020.

46. アサマイチモンジ *Ladoga glorifica*

市内ではイチモンジチョウより多い. データにはないが 7~9 月にも見られる.

有馬富士公園, 1 ex., 26. V. 2019; 1 ex., 29. V. 2020; 1 ex., 1. VI. 2021.

47. コミスジ *Neptis sappho*

やや多い. 7 月~9 月頃にも見られる.

有馬富士公園, 1 ex., 5. V. 2020. 母子, 1 ex., 23. V. 2021.

48. ホシミスジ *Neptis pryori*

前種コミスジよりも若干局所的. 数はそれなりに多く見られる.

大原, 1 ex., 30. V. 2020. 有馬富士公園, 1 ex., 6. VI. 2021.

49. ミスジチョウ *Neptis phillyra* (図 11)

少ない. 他に母子でも成虫を目撃.

城山公園, 1 ex., 16. VI. 2019. 有馬富士公園, 1 ex., 30. V. 2021.

50. ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

ヒョウモン類の中で最も多い. (アサギマダラを呼ぶための) フジバカマの花壇にも多数が飛来している.

下里, 1 ♂, 22. IX. 2019. 深田公園, 1 ♂, 23. VIII. 2020. 志手原, 1 ♀, 2. X. 2021. 虫尾, 2 ♀, 23. IX. 2022; 1 ♂, 26. IX. 2022. 成谷, 3 ♂, 1. X. 2022.

51. ミドリヒョウモン *Argynnis paphica*

やや少ない. ヒョウモン類の中では前種について多いが, 初夏には僅かしか見られない.

有馬富士公園, 1 ♂, 10. X. 2020. 小野公園, 1 ♀, 11. X. 2020. 乙原, 1 ♂ 1 ♀, 20. IX. 2021. 母子, 3 ♂, 20. IX. 2021; 1 ♀, 3. X. 2021. 有馬富士, 1 ♂, 22. VI. 2022. 成谷, 1 ♂ 1 ♀, 3. X. 2022.

52. メスグロヒョウモン *Damora sagana*

少ない. 僕が小学校低学年の頃よりも減っているように思う.

有馬富士公園, 1 ♀, 10. X. 2020. 大川瀬, 1 ♂, 27. VI. 2021; 1 ♀, 2. X. 2022. 成谷, 1 ♀, 1. X. 2022.

53. オオウラギンスジヒョウモン *Argyronome ruslana*

やや少ない. ミドリヒョウモン, メスグロヒョウモンと異なり, 秋には♀しか見られない.

大原, 1 ♂, 12. VI. 2020. 大川瀬, 3 ♂, 27. VI. 2021. 乙原, 1 ♀, 20. IX. 2021. 母子, 2 ♀, 20. IX. 2021. 志手原, 1 ♀, 30. IX. 2022. 成谷, 2 ♀, 1. X. 2022.

54. ウラギンスジヒョウモン *Argyronome laodice* (図 12)

非常に稀. 市内で見たのはデータに示した 2 ♀のみ. 大川瀬, 1 ♀, 26. VI. 2021. 志手原, 1 ♀, 27. IX. 2021.

55. ウラギンヒョウモンの一種 *Fabriciaca* sp. (図 13)

正確な同定はしていないが, おそらくサトウラギンの方. 少ない. この 2 年の間全く見ていない.

志手原, 1 ♀, 25. VI. 2019; 1 ♀, 4. X. 2020.

56. アサギマダラ *Parantica sita*

上野台中学校ではフジバカマを植えて本種を呼ぶ活動をしている (そのためあまり採集しないようにしている). 例年, 9 月下旬~10 月中旬に飛来する.

大原, 1 ♂, 3. X. 2021.

57. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus*

多い. 草地にかなり見られる.

尼寺川, 1ex., 2. V. 2020. 志手原, 2exs., 13. IX. 2020. 大原, 1ex., 23. IX. 2022.

58. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama*

やや多い. 林縁部などに見られる. 次種コジャノメより遅く発生する.

大原, 1ex., 8. VI. 2020. 三田駅, 1 ♀, 19. VI. 2022.

59. コジャノメ *Mycalesis francisca*

前種ヒメジャノメより少なく, 若干高いところに見られる.

有馬富士, 1 ♂, 12. V. 2019; 1 ♂, 7. V. 2020; 1 ♂, 7. VIII. 2020.

60. ジャノメチョウ *Minois dryas*

市内では, ススキがあれば割とどこにでもいるように思う. データの他に狭間が丘, 三国ヶ岳でも確認している.

中央公園, 1 ♂, 6. VII. 2019. 有馬富士公園, 1 ♂, 17. VI. 2020; 1 ♀, 19. VI. 2021.

61. クロコノマチョウ *Malanitis phedima*

少ないものではないが, あまり見られない. データの他には小野, 福島などでも目撃している.

中央公園, 1 ♂, 4. XI. 2019. 志手原, 1 ♂, 7. V. 2020. 乙原, 1 ♀, 20. IX. 2021. 友が丘, 1 ♂, 9. IV. 2022. 大原, 2 ♀, 3. X. 2022, 幼虫採集・飼育羽化.

62. ヒカゲチョウ *Lethe sicelis*

記録場所が偏っているが, 三田市では広い範囲で見られる.

有馬富士公園, 1 ♂, 5. VI. 2019; 1ex., 31. V. 2021; 1ex., 12. VI. 2021.

63. クロヒカゲ *Lethe diana*

前種より早く発生し, 5月下旬から見られる.

有馬富士, 1 ♂, 26. V. 2019; 1 ♂, 30. V. 2021; 1 ♀, 6. VI. 2021.

64. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii*

数多く見られる. 4月の下旬から発生.

母子, 1 ♂, 17. VIII. 2020; 1ex., 23. V. 2021. 大原, 1ex., 1. V. 2021; 1 ♀, 5. VIII. 2021. 宮脇, 1ex., 29. IV. 2022.

65. ヤマキマダラヒカゲ *Neope nipponica* (図 14)

前種に比べてかなり少なく, データに示した 1 頭しか採れていない. 同定が非常に難しい個体で, 八木 剛氏に同定してもらった. 採集地の標高からしても本種で

良いと思う.

母子, 1 ♀, 17. VIII. 2020.

66. アオバセセリ *Choaspes benjaminii*

やや少ない. 一度に多くが見られることはほとんどない.

三国ヶ岳, 1 ♂, 9. VIII. 2020. 有馬富士, 1 ♂, 19. V. 2019; 1 ♂, 3. V. 2022; 1 ♂, 7. V. 2022.

67. ミヤマセセリ *Erynnis montanus*

やや多い. 雑木林の林床に生息し, 春早くから発生する.

有馬富士公園, 1 ♂, 23. III. 2020; 1 ♂, 24. III. 2021; 1 ♀, 26. III. 2021; 2 ♂, 4. IV. 2022; 1 ♀, 23. IV. 2022.

68. ダイミョウセセリ *Daimio tethys*

やや多いが, 普段見るものではない.

有馬富士, 1 ♂, 26. V. 2019; 1 ♂, 7. V. 2022. 三国ヶ岳, 1 ♂, 4. VIII. 2020.

69. ギンイチモンジセセリ *Leptalina unicolor* (図 15)

産地はかなり限定され, 個体数も多くはない. 個体数は減少しているようにも思える.

宮脇, 2exs., 24. IV. 2020; 4 ♂ 1 ♀, 4. V. 2021; 1ex., 29. IV. 2022.

70. ホソバセセリ *Isoteinon lamprospilus*

非常に少ない. 市内で採集したのはデータの他に 1 頭のみ (調査期間外).

有馬富士公園, 1ex., 4. VIII. 2020.

71. キマダラセセリ *Potanthus flavus*

データは少ないが, 個体数は多い. 9月頃にも見られる. 有馬富士公園, 1ex., 19. VI. 2020.

72. ヒメキマダラセセリ *Ochlodes ochraceus*

やや多いが, 前種キマダラセセリよりは少ない. 5月の下旬から発生.

波豆川, 1ex., 24. V. 2020. 母子, 1ex., 17. VIII. 2020; 1ex., 23. V. 2021.

73. コチャバネセセリ *Thoressa varia*

やや多い. 林縁部などによく見られるが, 春には田の畔などを飛んでいることもある.

有馬富士公園, 1ex., 26. V. 2019. 大原, 1ex., 23. V. 2021; 1ex., 19. VIII. 2022.

74. チャバネセセリ *Pelopidas mathias* (図 16)

5月下旬には見られる。個体数は多い。

大原, 1 ♀, 13. IX. 2020; 2exs., 26. IX. 2022.

75. オオチャバネセセリ *Polytremis pellicida*

6月と9月頃に林縁部などで見られ、個体数も多い。

大原, 1ex., 22. VI. 2019. 有馬富士公園, 1ex., 20. VI. 2020. 宮脇, 1ex., 26. VI. 2021.

76. イチモンジセセリ *Parnara guttata*

6月頃から見られ、秋にかけて増える。個体数はやや多い。

大原, 1ex., 2. VI. 2019; 1ex., 24. IX. 2022; 1ex., 26. IX. 2022. 母子, 1ex., 23. V. 2021.

### まとめ

4年に渡る調査の結果、計76種を採集した。生息する種のほとんどは採集できたのではないだろうか。しかし筆者は、あと数種は記録される可能性があると思っている。既に確認した種についても、分布や発生時期などの細かい部分を調べるには、まだまだデータが不十分であり、今後も調査を続けていく予定である。

### 謝辞

本稿をまとめるにあたって、執筆を薦めてくださった八木 剛氏、採集に連れて行っていただいた服部 泰樹氏、森 聡子氏、蝶の採集の面白さを教えてくれた父に厚く感謝を申し上げます。

### 参考文献

白水 隆, 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 336pp. 学習研究社, 東京.